

## 序 文

近年の急激な社会変化はさまざまな影響を地域に与えてきています。特に開発と文化財保護、自然保護をめぐるいくつかの問題が発生してきています。特に文化財や自然の破壊がかってないほどの速さですすめられてきています。中で建造物や古文書等の有形文化財、風俗習慣、民具等の民俗資料、埋蔵文化財や動植物の天然記念物の保存、保護対策は緊急の課題となつて来ています。教育委員会では、この三年計画で、福生市文化財総合調査を実施し、市内の文化財の基礎的資料を、福生市文化財専門委員や学識者を中心とし、市民有志の参加を得た調査班の手で作成しています。このたびその一つとして、市内の古文書目録(一)が作成されたことを大変うれしくおもいます。

一枚の文書の語るさまざまな史実が、福生の歴史をいっそう充実したものにし、土地に密着した郷土の史料として大変価値の高いものだとすることを痛感します。この目録が今後、資料保存並びに、市史のよき資料となり、多くの市民や研究者によって活用されれば幸いです。また、所有者の方々が今後いっそう大切に保存くださるようお願いいたします。

最後にこの調査にあたって、資料の所蔵されていて種々便宜をはかってくれた方々に厚くお礼申しあげると同時に、この調査に指導くださった北原進先生(立正大学)や立川愛雄文化財専門委員をはじめとする古文書調査員の方々に厚く御礼申し上げます。

福生市教育委員会

教育長 町 田 倍 二

一九七五年三月三十一日